

本当の思い



明戸中学校2年 田中美沙紀

私には今、九十三歳の祖父がいます。いつも明るく笑っている、元氣な人です。写真撮ると、九十三歳には見えないくらい若々しく写ります。ですが、私の祖父は、六年程前に脳こうそくで倒れ、その後遺症のため、左半身がマヒして、動けなくなっていました。そのため、母の力を借りては、色々なことができなくなりました。倒れる前日までしていた畑仕事などはもちろん、歩くこと、立つことさえままならなくなっていました。

今は母が祖父の世話をしています。トイレに行きたいと、夜中に呼ばれることもあります。それを母はいやがらずにすぐ起きて、トイレまで車いすで祖父をつれていきます。周りの人が聞くと、「大変ね。疲れませんか。がんばりすぎちゃダメよ。」と心配し、応援してくれます。私も、母はとてもしんどいと思って、少し無理をしているのではないかと、思っていました。ですが、私はこの頃思うのです。突然左半身の自由をうばわれて、ずっとしてきたことが、たった一日で、ほとんどできなくなりました。当時の祖父のショックは、とても大きかったのではないかと。それでも祖父の笑顔は消えませんでした。まだ私が三、四年生くらいの時は、おじいちゃんはずいぶん大変なのに、いつも笑っている、と思っただけでしたが、この頃は、自分が弱っている所を孫である私に、知られたくない

かったのではないかと考えるようになり、ました。それと思うと、母ががんばりすぎると、いかにがんばっていた理由が分かる気がします。それと同時に、本当に辛い思いや苦しい思いをした人、周りの人たちからは気付けられにくいのではないかと、思っています。本当にその人を心配し、支えてあげたい、と思わなければ、その人の本当の思いに気付き、支えてあげることができないのです。そしてそれは、障害者や何らかの差別を受けている人たちに対してだけ、というわけではないと思います。普通に生活している人たち同士も、そんな心で接し合うことで、互いの本当の思いが分かり合えるようになるのではないかと、祖父との関わりを通して私は思いました。

幼い頃、私が悲しい思いをして泣いていると、いつも気付けて、「よしよし。泣くんじやないぞ。おじいちゃんがいればよいぞ。」と言ってなぐさめてくれた祖父の姿は、私の中でずっと残っています。本当に心配してくれたその大きな姿が、私の中から消えることは、何があってもありません。人権とは、そんなにむずかしいことではなく、相手の立場に立って考え、気遣っていくことだと私は思います。それも重く考えて、一方的にするのではなく、自分のできる範囲でしていけばいいのだと思います。障害者や体の不自由な人に、労働的なことをしてくれとたのむことはできません。ですが、障害者や体の不自由な人にも、できることは必ずあるはずですよ。人権は、人の人としての権利です。その人にはこんなことはできない、と最初から他人が決めてつけるのは、まちがっています。これはできる、これはできない、と決めるのは、その人自身です。そのことを尊重していくのが、人権を考えることだと私は思います。これから私は、まず祖父とのつながりをもっと深め、相手の本当の気持ちに気付けて、さりげなく手をさしのべ、支えていけるような人になりたいと思います。

夢

なかるべからず

わた いる 岩田 守 さん

魂を込め勇気を与え



自分より

庭 できる簡単なスポーツ。テニスを「庭球」と訳した日本人はそう考えていたようだ。現代のテニスで頂点を目指そうとしたら、その技、スピードにおいて、卓越したものが求

められる。まして、その移動手段が車椅子ならば、その技術力、体力は計り知れない。

車椅子テニスプレーヤー 岩田 守

世界ランキングに名を連ねる彼の眼差しは、常に自分より周囲に向けている。

Book

ふかや必読書 30



『どんごハリ』 ジーン・ジオン 黒いぶちのある白い犬のハリーは、お風呂が大嫌い。体を洗うブラシを隠して逃げ出します。遊び回ったハリーは黒い犬になってしまい、家の人は誰も気付いてくれません。困ったハリーはどうしたでしょう。

感想 みんなの 明戸小学校2年 吉田 樹里 さん

わたしは、何でハリーはお風呂がきらいなのかなと思いました。ハリーがまっ黒になって家にもどってきたら、かくしていたブラシをみつけて自分からお風呂に入りたがったところがかわいかったです。いっぱいあそんで、つかれてお気に入りのざぶとんでねていたところが気持ちよさそうでした。ハリーはどんなゆめを見ているのかな。 お話がつづくなら、お風呂が大さきになって、ブラシをかくさなくなるといいです。

Letter

ありがとうの手紙



優秀賞 一般 クラスメイトへ 国濟寺 しみず 清水 はじめ 元 さん

手探りで食べる食事の味気なさ 友情貫いた舌鼓打つ 私は五十二年前、深谷中学校を卒業した六十七才。五十才頃から目がかすみ、十年程で全く見えなくなりました。 落ち込んでいた時、クラス会の案内が来、迷惑をかけては躊躇していたところ、幹事さんから、面倒を見るので良かったら出てくるようにとの誘いがあり、お言葉に甘え出席しました。クラスメイトの至れり尽くせりで楽しい一日でした。その後も毎年参加し、今年も先日案内が来まして、楽しみにしています。

出合い

球 を常に追いかけていた。花園小・中では野球に明け暮れた。どちらかと言うとテニスは軟弱なスポーツの印象だった。就職してからも草野球やスキーなどいろいろなスポーツを楽しんだ。しかし、23歳の時、仕事上の事故で車椅子生活を余儀なくされた。失意のどん底から、半ば引きこもりの生活が続いた。

少しの勇氣 魂 を込めて打ち込む球は、コートで鋭く弾む。攻めのテニスには定評がある。現在、日本ランキング3位。日本の上位8人が勢揃いする日本マスターズに今月出場する。当面の目標はロンドンパラリンピック出場だ。その目的の奥底には、この姿を多くの人に見てもらい、車椅子テニスを少しでも広めたい気持ちがある。かつての自分のように、今悩んでいる人、この姿を見せ、外に出る少しの勇氣を与えられれば。



など無難にこなした。優勝など想った。体育教師はそれを察し、敢えて厳しい先輩をテニスの練習パートナーに選んだ。 その先輩は噂に違わず、とても厳しかった。へとへとになった。しかし、練習後は優

夢七訓

夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし 幸福を求める者はゆえに 夢なかるべからず※

※本文中の敬称は本人の承諾を得て省略しています